

目標	分類	区分	番号	PI名	平成30年度 PI計算値	令和元年度 PI計算値	令和2年度 PI計算値	令和3年度 PI計算値	令和4年度 PI計算値	令和5年度 PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号
安全で良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	0.61	0.63	0.64	0.64	0.64	0.59	(mg/L)		残留塩素濃度合計/ 残留塩素測定回数	1106
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	40.0	40.0	30.0	10.0	10.0	10.0	(値, 項目名) (%)	2-メチルイソボルネオール	(最大カビ臭物質濃度/ 水質基準値) × 100	1105
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	33.0	22.0	17.0	18.0	37.0	27.0	(%)		(Σ 給水栓の総トリハロメタン濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	1107
			A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	43.3	33.3	33.3	30.0	36.7	30.0	(%)		(Σ 給水栓の有機物 (TOC) 濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	1108
			A105	重金属濃度水質基準比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(値, 項目名) (%)	カドミウム及びその化合物 水銀 及びその化合物 セレン及びその 化合物 鉛及びその化合物 ヒ素 及びその化合物 六価クロム	(Σ 給水栓の当該重金属濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	1110
			A106	無機物質濃度水質基準比率	29.5	30.0	30.3	31.7	28.9	28.5	(値, 項目名) (%)	カルシウム、マグネシウム等(硬 度)	(Σ 給水栓の当該無機物質濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	1111
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(値, 項目名) (%)	四塩化炭素 シス,トランス-1,2 -ジクロロエチレン ジクロロメ タン テトラクロロエチレン ト リクロロエチレン ベンゼン 1,4-ジオキサン	(Σ 給水栓の当該有機化学物質濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	1113
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	26.7	16.7	16.7	16.7	20.0	20.0	(値, 項目名) (%)	ジクロロ酢酸	(Σ 給水栓の当該消毒副生成物濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	1114
		施設管理	A203	配水池清掃実施率	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	100.0	(%)		(5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) × 100	5002
			B104	施設利用率	94.8	95.0	92.5	92.1	95.4	96.2	(%)		(一日平均配水量/施設能力)×100	3019
			B105	最大稼働率	99.4	102.1	98.8	98.5	98.9	99.0	(%)		(一日最大配水量/施設能力)×100	3020
			B106	負荷率	95.4	93.0	93.6	93.5	96.4	97.2	(%)		(一日平均配水量/一日最大配水量)×100	3021
			B108	管路点検率	22.4	22.4	26.9	22.4	25.4	56.7	(%)		(点検した管路延長 / 管路延長) × 100	5111
			B109	バルブ点検率	23.5	31.7	27.4	35.9	29.9	50.0	(%)		(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100	新規
		施設管理	B110	漏水率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)		(年間漏水量 / 年間配水量) × 100	5107
			B111	有効率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(%)		(年間有効水量 / 年間配水量) × 100	新規
			B112	有収率	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0	(%)		(年間有収水量/年間配水量)×100	3018
			B113	配水池貯留能力	0.19	0.18	0.17	0.16	0.16	0.16	(日)		配水池有効容量/一日平均配水量	2004
B117	設備点検実施率		81.6	89.2	100.0	93.2	93.2	93.2	(%)		(点検機器数/ 機械・電気・計装機器の合計数) × 100	5110		
B204	管路の事故割合		1.5	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	(件/100 km)		管路の事故件数 / (管路延長/100)	5103		
事故 災害 対策	B205	基幹管路の事故割合	1.5	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	(件/100 km)		基幹管路の事故件数/(基幹管路延長/100)	2202		
	B206	鉄製管路の事故割合	1.5	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	(件/100 km)		鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)	5104		
	B210	災害対策訓練実施回数	4	5	3	4	4	4	(回/年)		年間の災害対策訓練実施回数	新規		
	環境 対策	B301	配水量1m3 当たり電力消費量	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	(kWh/m ³)	有効数字2桁表示	電力使用量の合計 / 年間配水量	4001	
B302		配水量1m3 当たり消費エネルギー	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	(MJ/m ³)		エネルギー消費量 / 年間配水量	4002		
B303		配水量1m3 当たり二酸化炭素 (CO ₂) 排出量	16	15	14	13	13	13289	(g・CO ₂ /m ³)		[二酸化炭素 (CO ₂) 排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶	4006		
B304		再生可能エネルギー利用率	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	(%)	有効数字2桁表示	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100	4003		
B306		建設副産物のリサイクル率	100.0	100.0	100.0	38.6	100.0	100.0	(%)		(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100	4005		
安定した水の供給	施設 管理	B401	ダクトイル鑄鉄管・鋼管率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(%)		[(ダクトイル鑄鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] × 100	5102	
		B402	管路の新設率	1.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(%)		(新設管路延長/管路延長)×100	2107	
		B502	法定耐用年数超過設備率	46.1	52.7	58.1	58.1	51.4	47.3	(%)		(法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数/ 機械・電気・計装設備などの合計数) × 100	2102	

目標	分類	区分	番号	PI名	平成30年度 PI計算値	令和元年度 PI計算値	令和2年度 PI計算値	令和3年度 PI計算値	令和4年度 PI計算値	令和5年度 PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号		
施設整備	施設更新		B503	法定耐用年数超過管路率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	(%)		(法定耐用年数を超過している管路延長/管路延長)×100	2103		
			B504	管路の更新率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(%)		(更新された管路延長/管路延長)×100	2104	
			B505	管路の更生率	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	(%)		(更生された管路延長/管路延長)×100	2105
	事故災害対策			B603	ポンプ所の耐震化率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)		(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力)×100	2208	
				B604	配水池の耐震化率	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	(%)		(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100	2209
				B605	管路の耐震管率	40.3	40.3	40.3	40.3	40.3	40.3	40.3	(%)		(耐震管延長/管路延長)×100	2210
				B606	基幹管路の耐震管率	40.3	40.3	40.3	40.3	40.3	40.3	40.3	(%)		(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100	新規
				B606-2	基幹管路の耐震適合率	77.6	77.6	77.6	77.6	77.6	77.6	77.6	(%)		(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長)×100	新規
				B608	停電時配水量確保率	17.6	17.2	14.7	6.6	9.9	0.0	0.0	(%)		(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)×100	2216
健全な事業経営	財務	健全経営	C101	営業収支比率	114.3	108.3	101.1	113.4	102.5	98.5	(%)		[(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費)]×100	3001		
			C102	経常収支比率	117.5	112.2	105.9	116.9	106.0	102.0	(%)		[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	3002		
			C103	総収支比率	117.7	111.1	105.8	116.1	106.3	102.9	(%)		(総収益/総費用)×100	3003		
			C104	累積欠損金比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)		[累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100	3004	
			C105	繰入金比率(収益的収入分)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)		(損益勘定繰入金/収益的収入)×100	3005	
			C106	繰入金比率(資本的収入分)	32.0	48.7	60.9	36.8	35.8	32.4	(%)		(資本勘定繰入金/資本的収入計)×100	3006		
			C107	職員一人当たり給水収益	216,510	185,467	218,435	225,245	250,570	211,891	(千円/人)			給水収益/損益勘定所属職員数	3007	
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合	4.4	5.2	4.5	3.9	3.7	4.0	(%)			(職員給与費/給水収益)×100	3008	
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合	0.6	0.5	1.3	1.1	1.0	0.9	(%)			(企業債利息/給水収益)×100	3009	
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合	17.5	18.8	21.1	20.0	20.7	21.0	(%)			(減価償却費/給水収益)×100	3010	
			C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	6.5	6.2	6.0	6.9	7.4	7.6	(%)			(建設改良のための企業債償還元金/給水収益)×100	3011	
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合	109.8	112.2	96.1	86.9	83.0	79.8	(%)			(企業債残高/給水収益)×100	3012	
			C113	料金回収率	118.1	112.5	106.0	117.7	106.2	102.0	(%)			(供給単価/給水原価)×100	3013	
			C114	供給単価	173.5	164.7	168.5	169.0	161.7	152.6	(円/m ³)			給水収益/年間有収水量	3014	
			C115	給水原価	146.9	146.4	159.0	143.6	152.3	149.6	(円/m ³)			[経常費用-(受託工事費+材料及び不要品売却原価+附帯事業費+長期前受金戻入)]/年間有収水量	3015	
			C118	流動比率	1364.6	1021.5	1250.1	1102.0	1068.7	928.9	(%)			(流動資産/流動負債)×100	3022	
			C119	自己資本構成比率	84.0	84.0	85.0	85.9	86.7	87.2	(%)			[(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)/負債・資本合計]×100	3023	
			C120	固定比率	97.8	95.3	92.5	90.5	90.2	89.3	(%)			[固定資産/(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)]×100	3024	
			C121	企業債償還元金対減価償却費比率	46.3	41.8	39.7	44.5	45.3	46.0	(%)			[建設改良のための企業債償還元金/(当年度減価償却費-長期前受金戻入)]×100	3025	
			C122	固定資産回転率	0.17	0.16	0.18	0.19	0.18	0.18	(回)			(営業収益-受託工事収益)/[(期首固定資産+期末固定資産)/2]	3026	
C123	固定資産使用効率	11.0	26.7	30.4	30.1	29.2	30.3	(m ³ /万円)			年間配水量/有形固定資産	3027				
C124	職員一人当たり有収水量	1,248,000	1,126,000	1,297,000	1,332,000	1,549,000	1,389,000	(m ³ /人)	百の位を四捨五入		年間総有収水量/損益勘定所属職員数	3109				
組織・人材	人材育成		C201	水道技術に関する資格取得度	4.00	3.62	4.30	4.25	4.24	3.55	(件/人)		職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数	3101		
			C202	外部研修時間	13.9	7.0	5.4	21.8	20.4	13.6	(時間/人)		(職員が外部研修を受けた時間×受講人数)/全職員数	3103		
			C203	内部研修時間	8.7	1.4	1.0	1.2	1.4	1.2	(時間/人)		(職員が内部研修を受けた時間×受講人数)/全職員数	3104		
			C204	技術職員率	55.6	52.4	55.0	44.4	50.0	55.0	(%)		(技術職員数/全職員数)×100	3105		
			C205	水道業務平均経験年数	18.6	15.9	17.3	17.4	0.9	0.8	(年/人)		職員の水道業務経験年数/全職員数	3106		
			C206	国際協力派遣者数	0	0					(人・日)		Σ(国際協力派遣者数×滞在日数)	6001		
			C207	国際協力受入者数	0	0					(人・日)		Σ(国際協力受入者数×滞在日数)	6101		

目標	分類	区分	番号	PI名	平成30年度 PI計算値	令和元年度 PI計算値	令和2年度 PI計算値	令和3年度 PI計算値	令和4年度 PI計算値	令和5年度 PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号
水道事業体の プロフィール	お各 さま との コ ミュ ニ ケー	情報 提供	C402	インターネットによる情報の提供度	29	31	25	19	23	14	(回)		ウェブページへの掲載回数	新規
			CI2	全職員数	18	21	20	20	17	20	(人)	主要背景情報 ※表示桁数は、事業体ごとに事業 規模が異なるため、各事業体で妥 当な表示桁数を判断してよい。	全職員数	新規
システムの プロフィール			CI3	水源種別	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流	ダム放流	-		-	新規
			CI4	浄水受水率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)		浄水受水量 / 年間配水量